



千一力合

～学校教育目標～

「気づき 考え 進んで行動する子どもの育成」



力合小学校だより NO.12

令和5年11月21日

児童数:502名

文責:校長 馬場康弘

大成功のとねりこ音楽会！

11月1日(水)に、全校児童が体育館に集まって行うことができました。実に4年ぶりとなります。翌日の2日(木)には保護者の皆様方にもご覧いただきました。子どもたちの発表はいかがだったでしょうか？



子どもたちは、この日に向けて何度も何度も練習を重ね、うまくいかない時も心を一つにして困難を乗り越えてきました。本番では練習の成果を存分に発揮し、自信をもって発表することができ、一人一人が輝いていました。

4年生見学旅行！



10日(金)はあいにくの雨でしたが、円形分水や通潤橋を歩いて見学できました。昔の人が知恵と技を使って大切な水を生活に活用した歴史の一端に触れ、教室で学習した内容をより深く理解できたのではないかと思います。清和文楽館で

は3人の児童が代表で人形を実際に動かす体験をし、その後短い演目を鑑賞しました。文楽への興味も高まり、楽しい時間を過ごしました。

6年生修学旅行！



6年生は、15日(水)から一泊二日の日程で修学旅行に行ってきました。1日目はフィールドワークや原爆資料館見学、被爆体験講話を聴くなど、主に平和学習が中心でした。2日目はハウステンボスで自由行動を楽しみ、お土産を買ったり、好きな乗り物に乗ったりして、楽しい時間を過ごしていました。学習するときは真剣に、遊ぶときは笑顔をたくさん浮かべながら、メリハリのある二日間を過ごすことができました。いつまでも心に残る思い出がたくさんできたと思います。さすが、学校の顔である6年生。時と場に応じた行動ができ、感心しました。添乗員さんやバスガイドさんなどからもとても褒められていました。

復活した力合祭！

11日(土)に盛大に行われました。天気にも恵まれ、物品バザーや食バザーは大賑わいでした。また、余興や餅投げなども大盛況で、子どもたちは非日常的な行事に大興奮でした。

力合祭実行委員長の重浦さんをはじめ、携わっていただいた多くの皆様による度重なる話し合

いや計画的な準備等により、4年ぶりに力合祭が復活しました。本当にお疲れさまでした。



11月全校朝会 校長講話

11月7日

テーマ：「心かがやけ月間」

みなさん、おはようございます。

※とねりこ音楽会の感想とこれから期待していることを話す。

さて、11月は熊本市内すべての学校で「心かがやけ月間」となっています。この「心かがやけ月間」は、「感動・感謝する心」や「力合校区を愛する心」、「命を大切にする心」「ルールを守る心」などを育てることを目的にしています。そのために、学校とお家の方、そして地域の方々と一緒にいろいろな取り組みをしていきます。

今、昼の校内放送で、放送委員会から「気づき 考え 進んで行動している人」の紹介がありますね。校長先生も毎日楽しみに聞いています。先生たちが見ていないところでも、友達のため・学校のためになるようなことをこれだけの人がやってくれていることに毎日ありがたく、そして頼もしく思っています。また、そんな友達の行動を見つけて紙に書いてくれた人も同じぐらい素晴らしいと思いました。このように、自分や友達、学校や力合校区のために、気づいたことをどうすればいいのかよく考え進んで行動することで「心かがやけ月間の目的」は達成されると思います。

そこで今日は、これまで紹介できなかった2つのことをみなさんに紹介します。

1つ目は、力合小の先生方のことです。先生方もみなさんと同じように係があります。それも一人いくつも係を持っておられます。一人の先生が係の仕事で大変な時に、周りにいらっしゃる先生方で、誰からともなく「これ手伝いましょうか」という言葉が飛び交い、進んでお手伝いをされている姿をたくさん見てきました。どんなに忙しいときでも、自分にできることはないかを考え行動されます。まさに、「気づき 考え 進んで行動する」ことを実践されているのです。校長先生は、こうし

た力合小学校の先生方にたくさん助けていただき、心から感謝しています。このことは、いつかみなさんに話そうと考えていたところでした。

2つ目は、「この方を知っていますか？」毎日朝見かける人も多いと思います。尚学会会長の濱 眞也 様です。

濱さんは、約4年前から、毎朝みなさんの登校時間に合わせてパトロールをされています。なぜ、パトロールをされているのか聞いてみました。すると、「子どもたちのあいさつや笑顔からたくさん元気をもらっています。そして、歩くことでいろんな人と会うことができるし、子供たちの成長や季節の移り変わりなど、いろんなことに気づくことができます。」と話されました。そして、「パトロールすることで少しでも地域や学校のお役にたたいです。」と穏やかな表情でお話をされました。

また、濱さんは、パトロールをしながら、通学路や校内に落ちているゴミも拾われています。同じくその理由を聞いてみると、「地域で同じようにゴミを拾われている人を見たことがきっかけです。そして、ちょうどその頃、新型コロナの影響で、使い捨てマスクがいろんなところに捨ててあることに残念な思いをしていました。その時、マジックハンドという道具に出会いました。手で拾うより抵抗感もなく、いつの間にか、マジックハンドを使ってゴミを拾うことに楽しさを感じるようになりました。」と話されていました。

校長先生は、濱さんからいろいろお話を聞いて、地域や学校、児童の皆さんのために素晴らしいことをされていることにとっても感動しました。なかなかできることではありません。と同時に、ゴミを捨てる人がいなくなれば、濱さんのようにゴミを拾う人もいなくなるのにも思いました。みなさんは、どう思いましたか？

また、今回は、濱さんの紹介をしましたが、この他にもみなさんや学校のために多くの方々から力を貸していただいています。今週土曜日にある力合祭もその一つです。楽しみですね。と同時に、人として感謝の心は決して忘れてはいけません。

最後に、濱さんからみなさんへのメッセージがありますので聞いてください。

※濱さんのメッセージ動画視聴

濱さんの願いは、みなさんの笑顔です。「心かがやけ月間」の取り組みを通して、みなさんの笑顔が学校中で見られるようにしていきたいですね。

☆文字が小さくなってしまい、申し訳ありません。